

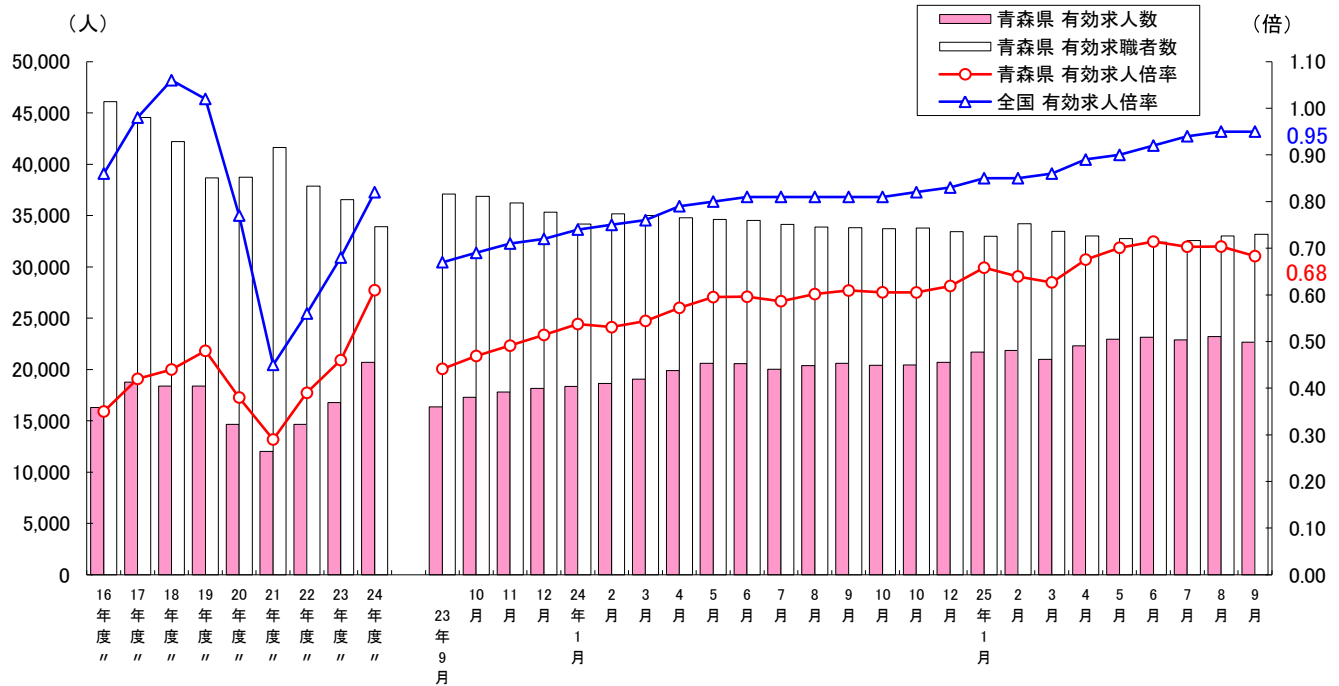
最近の雇用情勢について

(平成25年9月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

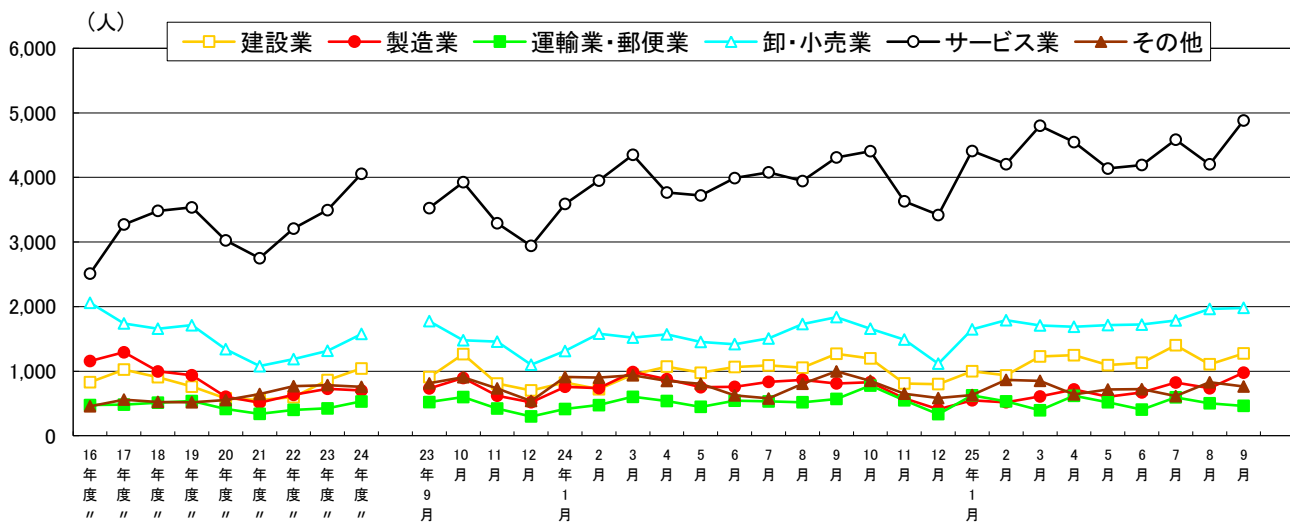
9月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ2.4%減少の22,658人、有効求職者数(同)は0.5%増加の33,172人で、有効求人倍率(同)は前月を0.02ポイント下回る0.68倍となった。



II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

9月の新規求人(原数値)は前年同月比5.6%(546人)増加、前月比10.7%(999人)増加の10,340人。

産業別に前年同月と比較すると、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、医療、福祉、複合サービス事業、サービス業等で増加し、農、林、漁業、情報通信業、運輸業、郵便業、公務、その他では減少となった。製造業では、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、印刷・同関連業、金属製品製造業、はん用、生産用機械器具製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で増加し、パルプ・紙・紙加工品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等では減少となった。



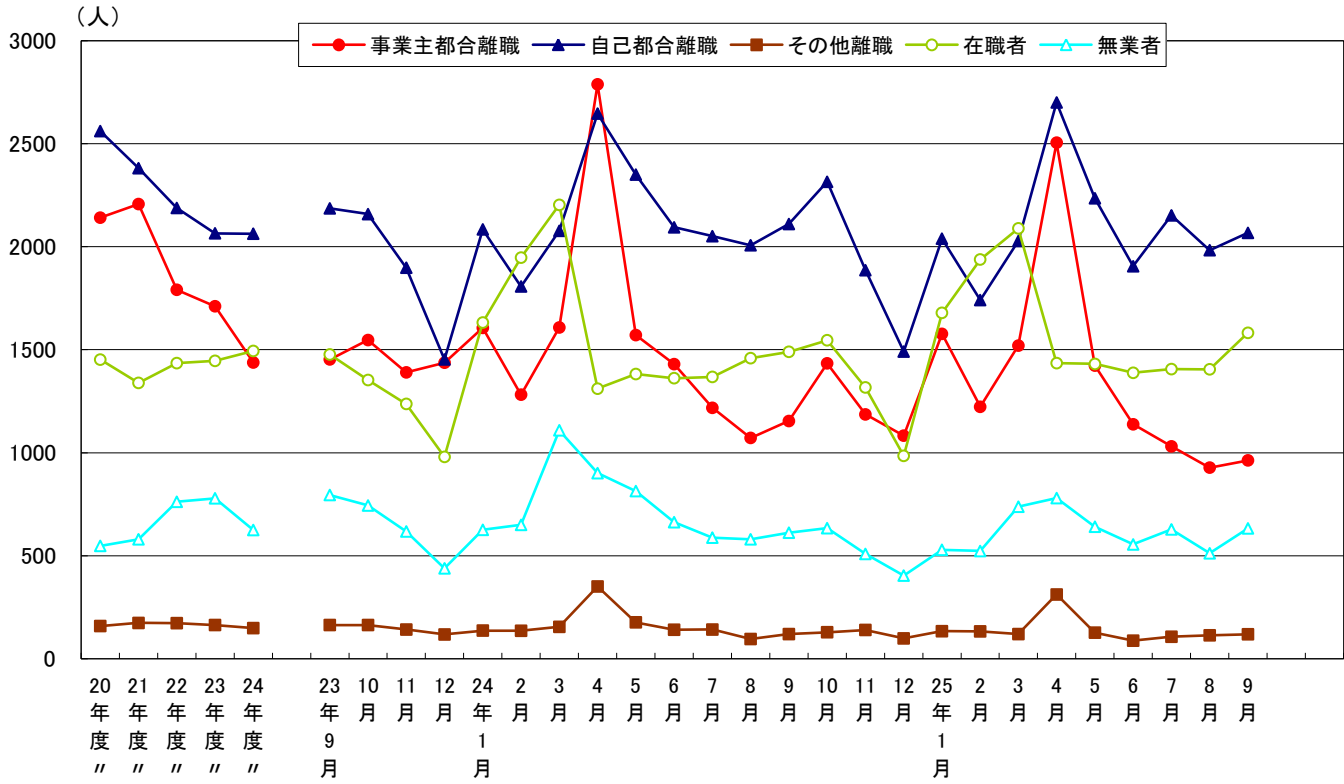
平成21年4月内容分より、平成19年11月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援事業」「医療、福祉」「複合サービス事業」「サービス業」を含む。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「公務、その他」を含む。

Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

9月の新規求職者数は、前年同月比2.2% (122人)減少、前月比8.5% (422人)増加の5,364人。

求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は6.2% (92人)増加し、離職者は6.9% (235人)の減少、無業者は3.4% (21人)の増加となった。

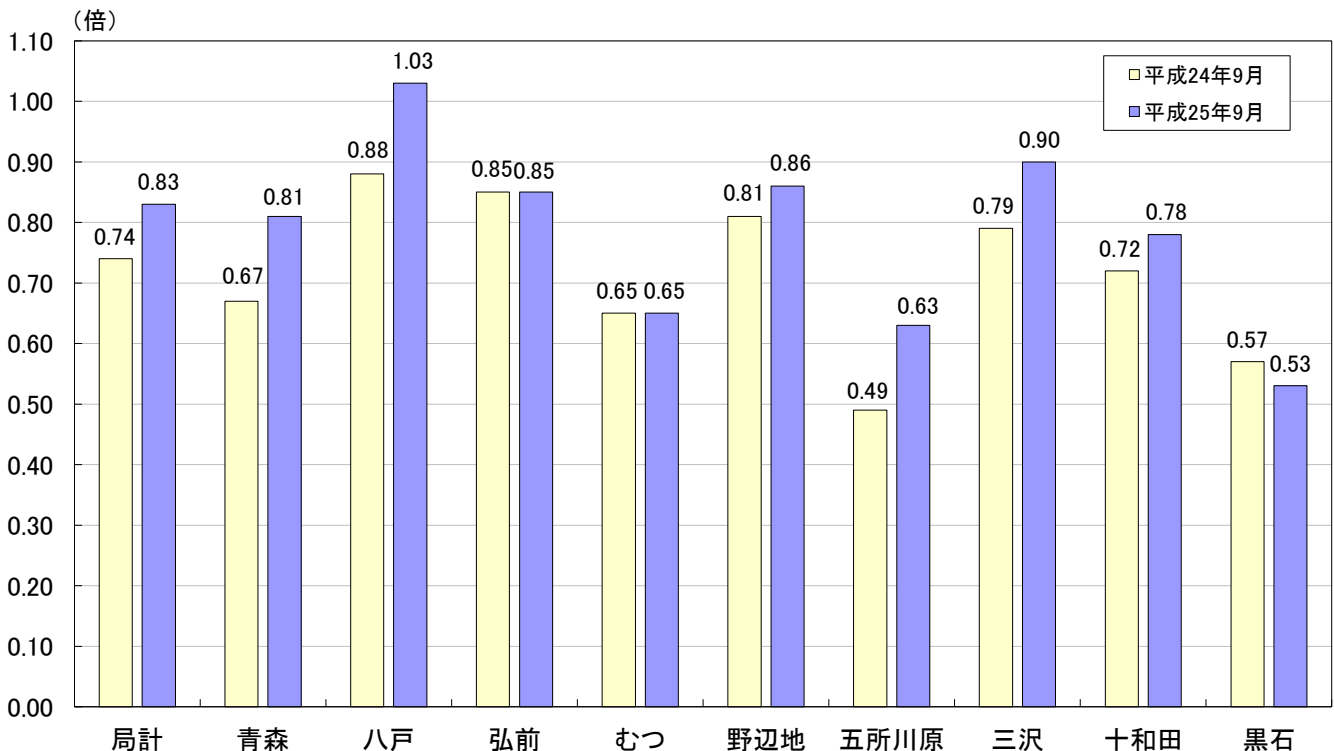
離職理由でみると、事業主都合は16.6% (191人)の減少、自己都合は2.0% (43人)の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

9月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.83倍となり、前年同月を0.09ポイント上回った。

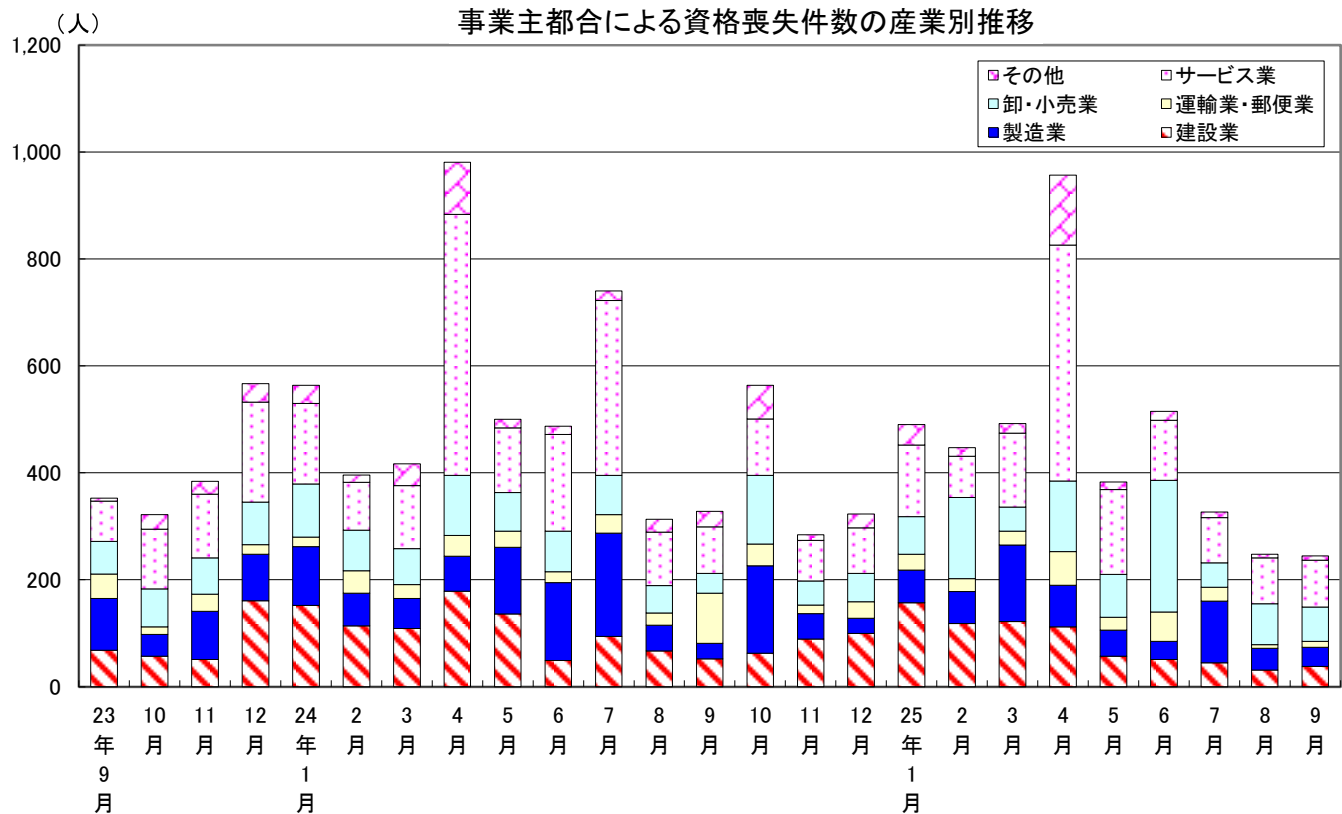
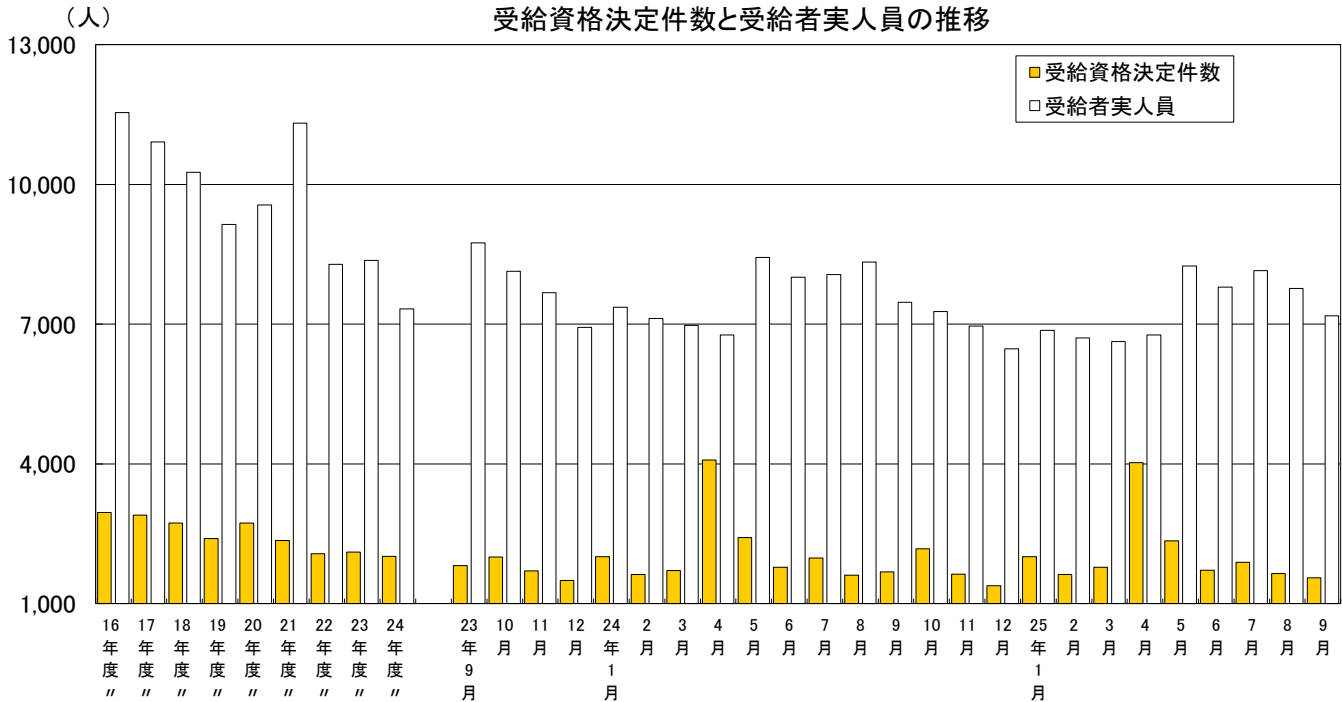
各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



V 雇用保険の状況

9月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比3.8%（287人）減少、前月比では7.5%（581人）減少の7,183人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比7.6%（128件）減少、前月比では5.5%（90件）減少の1,554件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比25.3%（83人）減少、前月比1.2%（3人）減少の245人となっている。



平成21年4月分より、平成19年11月改定の新産業分類で集計。
『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療・福祉」、「複合サービス事業」サービス業を含む。